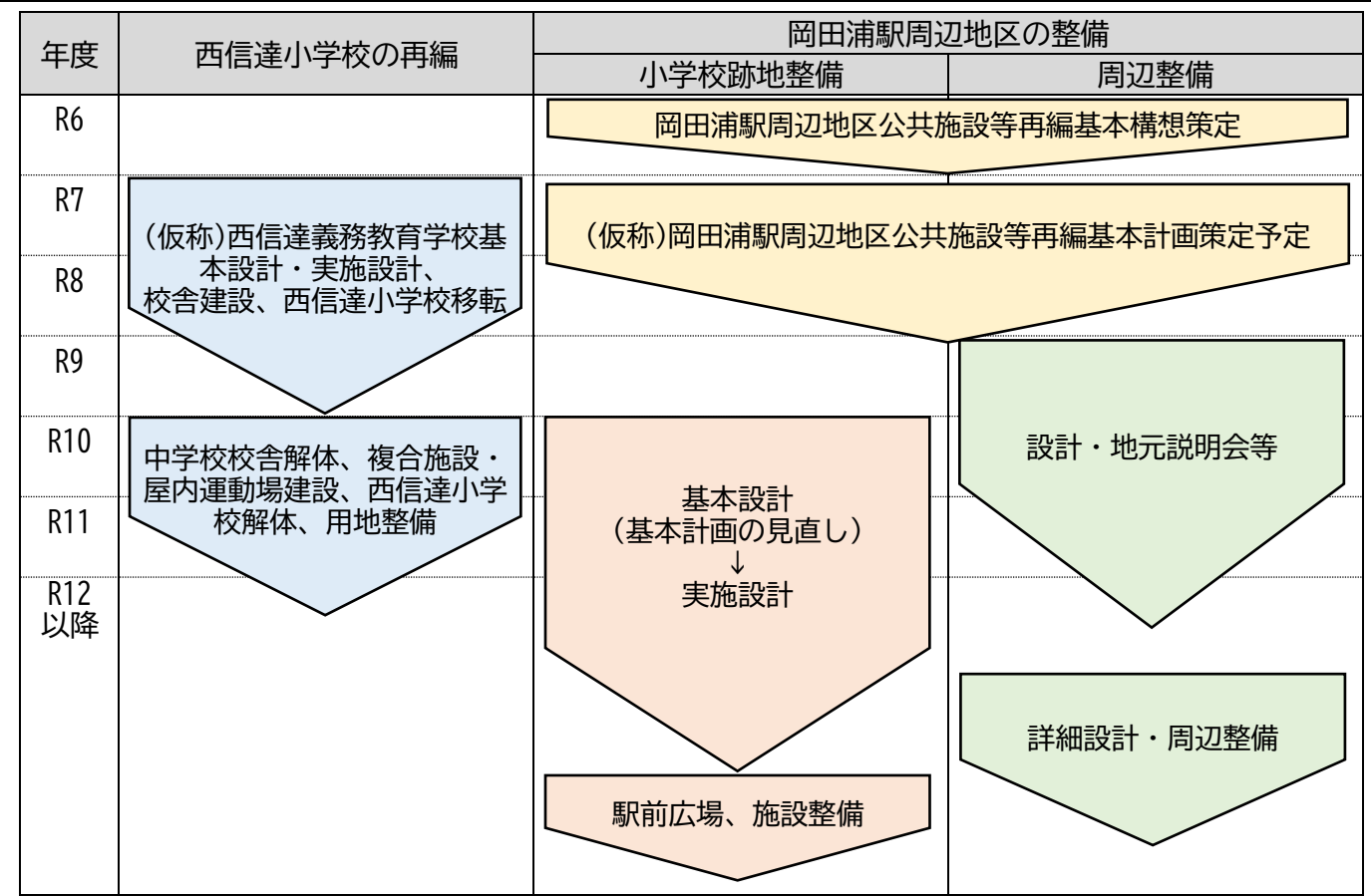


8. 今後の事業の流れ



※事業の検討・進捗状況により変更となる場合があります。

9. 今後の課題と検討事項

(1) 市民、関連企業との協働

- ・岡田浦駅周辺地区の整備の実現には、市民・事業者・行政の協働による取組が必要不可欠です。そのため、市民がまちづくりに参画しやすい環境づくりの活動支援を行い、民間活力導入については関連事業者との連携を図ることで、市民・関連事業者と協働でまちづくりを推進します。
- ・本事業は長期間に渡ることが想定されるため、多様な関係者との合意形成が重要となり、計画進度に応じて事業計画を見直していくことが求められます。

(2) 一体的な周辺環境の整備

- ・岡田浦駅周辺地区における住環境の安全性や快適性の向上及び地域活性化を図るためには、西信達小学校跡地だけの検討ではなく、駅舎や周辺道路といった周辺環境の利便性・快適性や安全性の向上を含んだ一体的な検討を行います。
- ・道路環境の整備において駅周辺のバリアフリー化やプラットホームの改修の中で、地域のニーズや状況を考慮しながら、事業推進にとって必要不可欠な道路や踏切の改修を進める必要があります。

岡田浦駅周辺地区公共施設等再編基本構想概要版 令和7年(2025年)3月
担当課：泉南市公共施設再編室公共施設再編課
住 所：泉南市役所本館2階 〒590-0592 大阪府泉南市樽井一丁目1番1号
電 話：072-479-6822 FAX：072-483-0325 e-mail：saihen@city.sennan.lg.jp

岡田浦駅周辺地区公共施設等再編基本構想
《概要版》

1. 基本構想策定の背景と目的

泉南市では、公共施設等の最適化として、西信達中学校と西信達小学校を統合し、西信達中学校敷地等に(仮称)西信達義務教育学校を新築します。そこで、西信達小学校移転後の跡地を有効活用することで、多世代間の住民が交流し、賑わいが創出される岡田浦駅周辺地区の生活拠点形成を目的として、「岡田浦駅周辺地区公共施設等再編基本構想」を策定しました。

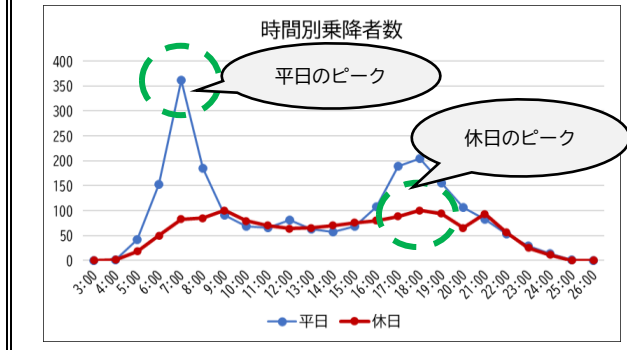
2. 対象地区の位置

・岡田浦駅周辺地区とは、南海本線岡田浦駅とその周辺道路、(仮称)西信達義務教育学校へ移転する西信達小学校跡地を対象地区とします。



3. 岡田浦駅乗降者数

・平日は、約2,200人/日が利用しており、ピークは7時～8時です。
・休日は、約1,400人/日が利用しており、ピークは18時～19時です。



4. アンケート調査

対象	岡田浦駅周辺地区にお住いの18歳以上から無作為に1,000人
実施方法	郵送発送・郵送回収またはWeb回答
回収数	回収数380票(回収率38.0%)

【アンケート結果概要】

○駅利用の際に感じることとして、歩道が狭い、送迎車両の停車スペースがない、一方通行が不便といった道路基盤に対する指摘が多い。

○西信達小学校跡地に必要と感じる空間として、子どもが安心して遊べる空間や災害時の避難スペース、駅前広場や駐輪場等による利便性向上が望まれる。

○駅前の賑わい創出に必要な施設として、駐輪場、コンビニ、駐車場、医療施設、バス・タクシーの乗降場、食料品店等の駅利用や生活利便性を向上させる施設が望まれる。また、住宅需要は低い傾向にある。

5. 民間事業者ヒアリング

調査方法	対面方式4社、リモート方式2社
調査対象	駅前設置が多い施設の設置・管理運営実績のある民間事業者

【調査結果(ヒアリングにおける主な意見)】

○岡田浦駅の乗降客数では、施設等の経営は成り立ちにくい。

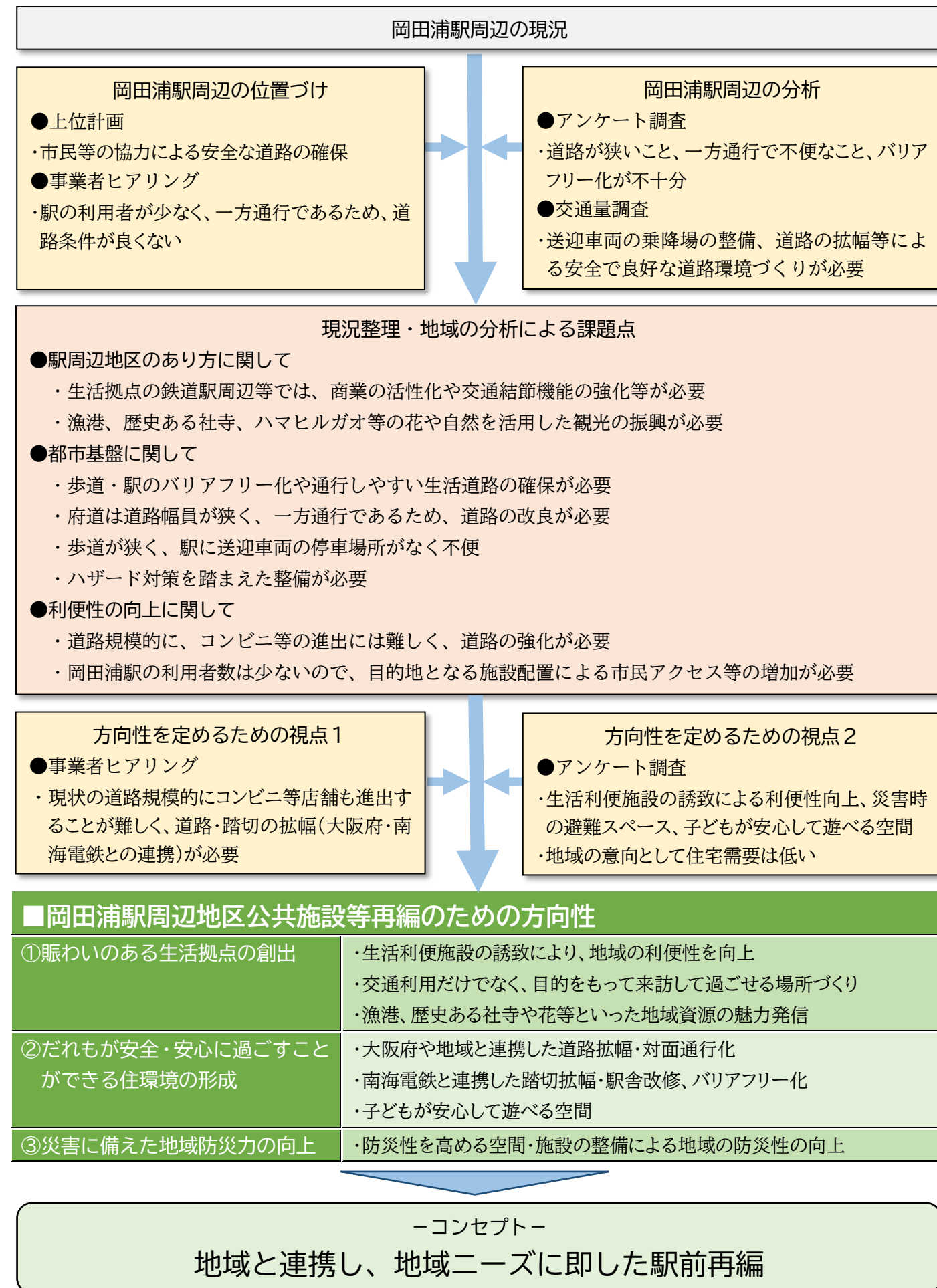
○接道する道路が一方通行で狭いため、施設等の誘致は難しい。

○目的地となり人を集めることができる施設を整備し、それに付随する形で他の施設を誘致することが必要。

○周辺地域から集客を促す取組が必要。

○地域外から施設を誘致するのではなく、地元企業を活用することが望ましい。

6. 地域課題の整理・方向性(コンセプト)

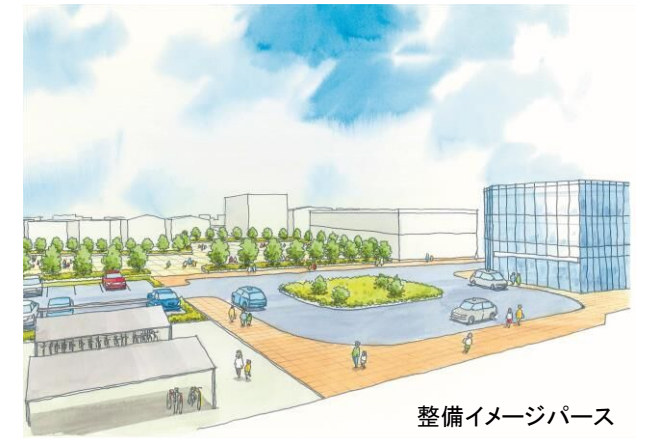


7. 土地利用ゾーニングの検討

・方向性(コンセプト)を踏まえ、3テーマの土地利用ゾーニングを検討します。なお、土地利用ゾーニングは今後とも関係者の意見を踏まえつつ、継続的に検討していくことから、検討結果によっては、内容が変更される可能性があります。なお、以下の各イメージパース図はあくまでも一例を示したものです。

(1) A案：「駅とのつながりが強い駅前広場の整備」

- 活用地と施設用地の沿道への配置により、駅前の賑わい創出に寄与できる土地利用の誘導が可能。
- 駐車場等の施設から駅までの駅利用者の動線が短くなり、駅利用の利便性を確保する。
- 公園や活用地と駅間で歩行者と自動車の動線が錯綜する。
- 接道箇所が東側の府道 252 号岡田浦停車場線のみとなるため、現状の一方通行の改善が望まれる。



(2) B案：「駅前景観を生み出す公園の整備」



- 駅利用者や通過車両からも認知できる特徴的な公園整備により、岡田浦駅の認知を高める。
- 活用地と施設用地の沿道への配置により、駅前の賑わい創出に寄与する土地利用の誘導が可能となる。
- A案と比較して、駐車場等の施設からの動線がやや長くなる。
- 活用地と駅間の歩行者と自動車の動線が錯綜する。
- 接道箇所が東側の府道 252 号岡田浦停車場線のみとなるため、現状の一方通行の改善が望まれる。

(3) C案：「安心して歩ける駅前の整備」

- 駅前に活用地と施設用地を配置することで、駅舎と連動した地域核となる施設の整備が可能。
- A案、B案と比較して、駅前広場等からの動線がやや長くなる。
- 接道箇所が東側の府道 252 号岡田浦停車場線のみとなるため、現状の一方通行の改善が望まれる。

